



目的

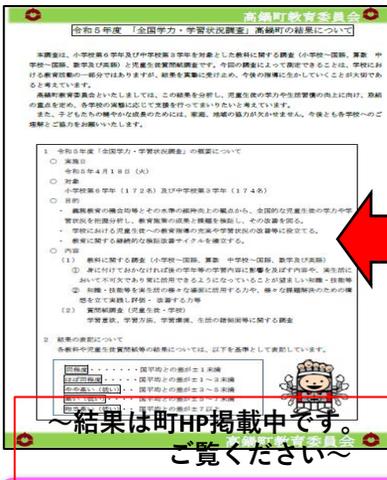
◎ 学校における教育の質の向上

◎ 児童生徒の教育の充実

授業を中心とした質の高い教育活動に専念できる環境の実現

教職員一人一人が自分の働き方を見直すとともに、ワーク・ライフ・バランスのとれた生活を実現し、健康で誇りとやりがいをもって能力を発揮できる環境を整備

～令和4・5年度全国学力・学習状況調査結果から見た本町の課題～



高鍋町の学力向上に係る課題

児童生徒の視点から

- ★認知機能の強化
- ★表現力の育成
- ★家庭学習や個別学習の工夫改善

指導者の視点から

- ★資質・能力の明確化と「めあて」「まとめ」の整合性
- ★個別最適化な学びの工夫
- ★協働的な学び工夫
- ★習熟の時間の工夫

4つの重点施策

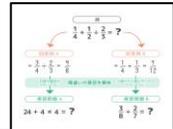
- ①授業改善
- ②包括的支援プログラム  
コグトレの実施・研修
- ③ICTの効果的な活用  
AI型教材・授業支援ソフト
- ④標準学力調査・  
Q-Uの実施・研修

結果は町HP掲載中です。ご覧ください

町内の子どもたちのタブレットには、下記の学習支援ソフトを導入しています！(授業や家庭学習の充実につなげます)

**AI教材 Qubena**

- ☆5教科(国語・社会・算数(数学)・理科・英語)
- ☆教師からの問題配付 ☆児童生徒が好きな分野の学習
- ☆個別最適な学びを目指して開発されたAI学習ツール
- ☆AIが自動的に苦手な問題を出題



**授業支援ソフト ロイロノート・スクール**

- ☆双方授業の展開(教員⇄生徒、生徒⇄生徒)
- ①教材配布・回収 ②回答共有し学び合う
- ☆思考を自由に分類・整理(思考の可視化)
- ①学習履歴の蓄積 ②シンキングツール
- ☆学校(先生)⇄自宅(子ども)連絡可能



**包括支援プログラム(コグトレオンライン)**

- ☆小学校～全児童に配備 ☆中学校～特別支援学級生徒に配備
- ☆認知機能強化(学習の土台となる「見る力」「聞く力」「想像する力」)を身につけさせる ☆児童生徒の自己効力感の向上
- ☆「記憶・言語理解・注意・知覚・推理・判断」に対応する「覚える」「数える」「写す」「見つける」「想像する」のトレーニング



令和6年度は「さらなるタブレットの持ち帰りによる家庭学習への活用推進」を図ります。お子さんのタブレット使用時に、是非、ご家庭でご覧ください。